

16. 後半のはじめに

生命保険数学の本流は、以上です。

以下では、この本流から多少とも枝分かれした様々な話題について解説していきます。本流は本質的ですが、ある意味単純明確なものです。アクチュアリー試験などでは本流だけでは、合格者と不合格者を振り分ける問題を作るのは難しいので、この枝分かれした部分の理解も必要とされます。この部分、技術的にはちょっと難しい数学（とはいっても、理系の高校レベルですが）の知識が必要となります。

本流だけで満足な人は、もう生命保険数学を卒業してしまっても問題ありません。アクチュアリー達がどんな枝葉に興味を持っているのか（あるいは受験生がどんな枝葉に苦しめられているのか）知りたい人や、アクチュアリー試験を受ける予定の人は、この後も続けて読んでみてください。

話はふたたび金利計算から始まります。

17. 金利計算 VI へ